

# シルヴァースプーンの20



メス 2020年3月2日生 | 栗毛 | 栗東・牧田和弥厩舎 | 門別山際牧場生産

一口価格： **17,600円** ※2022年保険料 564円 募集口数：1000口【競走馬出資金総額 1,760万円】



## 治郎丸敬之の馬体診断

今やトップサイアーの座に登り詰めようとしているエピファネイアの仔だと思ってしまうからかもしれませんが、惚れ惚れするような好馬体の持ち主です。いや、エピファネイア産駒だと知らずとも見惚れてしまう理想的な馬体を誇っています。馬格があって、前駆には力強さがみなぎり、しかも手肢から胴部に至るまで馬体全体に伸びがあります。窮屈なところがひとつもありません。もちろん、成長途上の1歳馬ですから、前駆に比べてトモの実の入りはやや物足りないなどと課題はありますが、期待の方がはるかに上回ります。顔つきからも素直な気性であることが伝わってきますので、芝の中長距離で活躍してくれるはず。蛇足になるかもしれませんが、同馬の栗毛はどこから来たのかと血統表を辿ってみると、母父のアグネスタキオンそしてその母の父であるロイヤルスキーの名が浮かび上がってきました。そう考えると、もしかするとダートに転向しても走るのではと違う面も見えてきて、より楽しみになりますか。

## POINT

募集写真をご覧くださいと、現状はトモ高でアンバランスに映る馬体、逆に言えば成長の余地を多分に残しており、現在450キロ前後の馬体もこれから大きな成長が見込めます。父エピファネイアは二世代で三冠牝馬と皐月賞馬を輩出し、早くもトップサイアーとしての地位を確固たるものにしておりますが、全ては母シーザリオから始まりました。そのシーザリオがアメリカンオークスで歴史の扉を開いた時、アメリカの地で同じレースを走ったのが本馬の祖母シルヴァークップです。約20年の時を超えて血統表で二頭が再会した事に、不思議な縁を感じずにはいられません。本馬には偉大な二頭の祖母の名に恥じない活躍を期待しています。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。